

リノベしてステキに暮らす!
いくのdeリノベ

知れば知るほど見えてくる
 “こだわり”と“丁寧”が
 いっぱいのカフェ

そこは南巽駅からすぐ、車の行き交う大通りから一歩入った場所。キラキラと輝く緑の葉の屋根の下をぐって入る店内は、どこか南国の雰囲気が漂っている。このカフェの名は「ビスク」。

カフェを経営する久田さんは、11年前、純喫茶だった店内を友人たちとリノベーションした。ポコポコとした壁に赤茶色のペンキを塗ると、さながら土壁のように。窓枠やドアにはアンティーク加工を施し、四角いタイルをはがした床には、模様のようにコンクリートに糊の跡が残った。革張りのイスは印象的な柄の生地に張り替え、いくつもの色板が組み合わされたテーブルの天板は、一つ一つ色を選んでオーダーした。道路からドアまでをつなぐのは線路の枕木だ。木漏れ日が



▲パテは自家製。バンズは、パテに合うように特別につくられたもの。

心地よく降り注ぎ、まるで隠れ家のように。椅子に腰かけた瞬間に感じる心地よさは、それら全てが調和しているからなのだろう。

カフェで提供されている食材にもこだわりがある。自然いっぱいの中で平飼いされたにわとりの卵、トマトソースやパン、ベーコン、ソーセージにいたるまで、全国各地から大事に作られたものを取り寄せている。また、店内で販売する雑貨や焼き菓子も、手仕事で丁寧につくられたこだわりのものばかり。

「良いモノなのに、あまり知られていないモノが世の中にはたくさんある。そういったモノにきちんと光を当てられるような場所を作りたい。」と久田さんは話す。気さくなスタッフさんからもビスクのストーリーをまだまだ聞いてみたいくなる、そんな店だ。

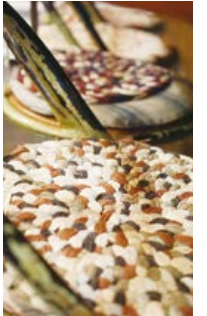


▲金曜日のみナイト営業をしている。夜は雰囲気ががらりと変わる。



◀カフェを経営するサンフェイスグループ代表の久田亮平さん。実は、他にも福祉に関わる活動を幅広く展開している。くわしくはブログをご覧ください!

販売もされているチェアマット。様々な色パターンを選ぶのも楽しい。



★Cafe&Goods B.S.C(ビスク)
 (巽東2-18-23) ☎06-6756-7878
<http://www.sunface.or.jp/bsc/>

ブログでは写真を追加して紹介しています。



生野区在住で、古い家屋をリノベーションし、自分らしい暮らしをしている方を紹介してください。

連絡先 ☎企画総務課 ☎06-6715-9683
 〒544-8501 生野区勝山南3-1-19

★空き家の相談はこちら
 ☎地域まちづくり課 4階44番 ☎06-6715-9734

もっと知れば
 もっと好き

60カ国以上の方が暮らすまち /



Nguyen Khanh さん
 (グエン カン)

27歳。日本に来て7年目。輸出入事業とカフェ経営で起業して9か月、いま生野で奮闘中。

こめ 米文化

ベトナムってお米をよく食べるんです。白ごはんはもちろん、麺とか、お餅にして食べたり。日本も似てますよね。ベトナムのお餅も好きだけど、僕は日本のお餅が大好きで!あのあっちあちで、もちもちなのが、いいんですよ。

でも、麺はベトナムの方がいいな。ベトナムの麺って日本では、平麺の「フォー」が有名だけど、細うどんみたいな丸麺の「ブン」の方がベトナムでは一般的なんですよ。

しごと

仕事をするのが大好きなんです。はじめベトナムで銀行員になろうと思っていたんだけど、いろんな仕事に興味が出てきて、日本の会社にも興味もあって、日本に留学しました。まず日本語学校で勉強してから、ビジネスの専門学校を卒業して、会社務めをしました。でも、どうしても自分で事業をしてみたくて、なんとか会社を起こしたところ。手続きがホントに大変でした。やっとスタート、これから日本で、もっともっと頑張っていきたい。

IKUNO×グローバルは生野区ブログでも発信しています。

生野区 チームいくみんな通信



ものづくり企業は地域の誇り /

ピックアップ **生野ものづくり百景**

有限会社
 こだま製作所

挑戦の積み重ねで今がある。新しいお客さんとの出会いが会社を育ててくれたんです。今後はIoTや宇宙分野にも関わってみたいですね!



▲社長の菅尾恭三さん

金属製品を作ろうと思うと、必ずといっていいほど必要な「溶接」の工程。その形は実に様々だ。時には0.04ミリの小さな部品を扱うことも。

「薄板加工」と「溶接」の奥深い世界
 たった5人の町工場の技術が評判を呼ぶ!

こだま製作所は薄い金属の加工や溶接加工を行っている従業員わずか5人の小さな会社だ。ここで作られているのは、製造ラインで使う機械の部品や、半導体の一部などで、単体で見ても用途が想像できないものばかりだ。溶接する金属によって温度や時間が違うため、新しい金属ができる度に、その特性を見極めて加工しなければいけない。

技術力の高さが評判を呼び、新製品の開発などで製作がうまく進まず、困りに困ったメーカーから「なんとかやってもらえないか」と依頼がくることも。

初めて扱う金属の加工でも「どうやったらできるか」といろいろ模索するのだそう。「新しい挑戦はいつもワクワクするんです。気持ちよくいい仕事をしていくためにも、日々技術を高めたい。」と菅尾社長は楽しそうに話してくれた。



有限会社こだま製作所
 (大阪市生野区田島6-4-6)
 ☎06-6754-3833

“きらりと光る”ものづくり企業をたくさん紹介しています。
 生野区ものづくり百景

